対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		雇用促進対策事業						予算事業名		雇用促進対策事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
			05	01	01	20	経常経費						
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分	主要事業					
	活力と創造力を育む商工業の振興							重点事業					
	活力ある地域産業の振興						担当課係等	商工観光課 企業立地推進室					
事業期間	継続 (平成27年度～令和 7年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
市内企業が優秀な人材を確保でき、企業業績や市民所得が向上し、地域経済が活性化、税収の増加と若者をはじめとする労働人口層が定住化する。						高校生への調査によると、「住み続けたい」または「いつかは戻りたい」との声があるものの、市内及び近隣に希望する進学・就職先がないため、東京圏への流出が避けられない状況にある。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
<ul style="list-style-type: none"> ・高校等と市内企業との就職情報交換会 ・企業PR事業 ・雇用促進対策セミナー ・高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・合同就職面接会 						市内企業、高等学校等、関係機関							
						【事業をとりまく環境の変化】							
						人口減少・少子化が進むなか、進学や就職などで一旦市外に出てもいつかは戻りたいと考えている若者も多いことから、こうした若者が持てる能力を発揮できる職場を確保することが必要である。また、企業にとっては、そのような若者を雇用したいと考えているが、情報が入手できないことなどによる人材不足が見受けられることから、企業と若者を結びつける雇用のマッチングが必要である。							
【令和 5年度 事業内容】			【令和 6年度 事業内容】			【令和 7年度 事業内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・高校等と市内企業との就職情報交換会 ・企業PR事業 ・雇用促進対策セミナー ・高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・合同就職面接会 			<ul style="list-style-type: none"> ・高校等と市内企業との就職情報交換会 ・企業PR事業 ・雇用促進対策セミナー ・高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・合同就職面接会 			<ul style="list-style-type: none"> ・高校等と市内企業との就職情報交換会 ・企業PR事業 ・雇用促進対策セミナー ・高校生を対象とした職場見学バスツアー ・ウェブサイト「結城で働く」の運営 ・合同就職面接会 							
■ 事業費													
		R03年度		R04年度									
財源内訳	国庫支出金	0		0									
	県支出金	0		0									
	地方債	0		0									
	その他	0		0									
	一般財源	260		251									
歳入計 (千円)		260		251									
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)								
	07 報償費		50		50								
	10 需用費		163		150								
	11 役務費		10		10								
	13 使用料及び賃借料		37		41								
歳出計 (千円) (A)		260		251									
伸び率 (%)				-3.46									
備考													

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	高校等と市内企業との就職情報交換会	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	高校生を対象とした職場見学バスツアーの開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	就職情報交換会参加企業数	社	目標	35.00	35.00	35.00
			実績	26.00	0.00	0.00
	職場見学バスツアー参加企業数	社	目標	20.00	20.00	20.00
			実績	20.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	東京圏への若者の流出抑制、市内企業の人手不足緩和のため、本事業の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が主体となり、ハローワーク等関係機関と連携して実施しており、妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	合同で開催することで交流の場を提供しており、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	最低限のコスト及び人員で実施しているため。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内雇用の確保により地域経済活性化を目指すものであり、受益は市民全般に及ぶため、偏りは見られない。また、事業の参加者募集についても、市ホームページや市報により公開して実施しており、公平性に配慮している。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

結城市を含むハローワーク筑西管内の有効求人倍率は、コロナウイルス感染症の影響により、一時的に低迷したが、令和4年4月は1.54倍（前年度同月より0.03増加）となり、16ヶ月連続で前年同月を上回ったことから、雇用情勢は改善しつつある。これまでは、採用する側の企業支援を重視していたが、今後は採用される側の新卒者・既卒者支援という視点も併せて重要になってくると考えられることから、こうしたニーズを捉えた事業を検討していく。また、「高校等と市内企業との就職情報交換会」及び「高校生を対象とした職場見学バスツアー」については、企業・学校双方からの評価が高く、定着してきていることから、改善を図りながら継続実施する。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

市内企業の採用担当者や高校等の進路指導担当者の意見を聴き、事業の改善を図る。また、ハローワーク等の労働部局、近隣市町等と意見交換を行い、事業連携を検討する。現在は、高校新卒者を対象とした取り組みが中心で、既卒者、大学や短大・専門学校への進学者やUIJターン希望者への取り組みが不足しているため、このような求職者への取り組みを検討する。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的内容

求人側、求職者側の双方から高い評価を得ており、今後も関係機関との連携を強め、より多くの有能な人材を確保できるための取り組みを進める。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。